



ぜぜようちえんだより



令和8年1月
大津市立膳所幼稚園
園長 村上 淳子

地域と共に～地域にある幼稚園～

新年 あけましておめでとうございます。

本年は、60年に一度の丙午(ひのえうま)の年です。明るく力強い火の年とも言われ、子ども達の健やかな成長とともに、地域の皆様にとっても実りある一年となることを願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



「師匠、
紐巻くのは
やい～」
Aさん「こ
うやって
な、巻いた
らいいぞ」

Bさんと一緒
に福笑い遊
び。目を開け
たら…「うわ
あ、面白い！」



地域の人と遊ぼう

12月に地域にお住まいの方をお招きして、コマ回しや藁で縄網をしていただきました。年長の子ども達は、1学期から交流をしているAさん(子ども達は“師匠”と呼んでいます)にコマ回しの技を教えていただき新たな技に挑戦し始めました。年中の子ども達は、Bさんお手製の福笑いやあやとりをして一緒に遊んでもらって、Bさんの優しい人柄に触れ、より親しみを寄せています。

また、ぜぜっこ(預かり保育)の時間にも、コマ回しや毛糸遊びを教えてもらっています。地域の方々の温かいお人柄に触れ、人との出会いを心地よいものとして感じられる貴重な経験となっています。

どんど焼き<膳所神社>

今年も年長の子ども達が、昨年のお守りやお正月に飾っていた餅花をもって行かせていただきました。「燃やした煙が、天高く上がると願いが叶う」ということを教えていただいて、年中年少や家族の分もお願いをしていた子ども達。

この日は保育参加ということで、保護者の方も一緒に参加し「初めて参加したけど、由来を教してもらったり、火や煙を見ていい伝統行事だと思った。来年も参加したいと思いました。」「地域のどんど焼きを経験することが、住んでいる街に親しみを持つことにつながったと思う。」「自分以外の人の事もお願いをしていて、人の事が考えられるようになったなあとしさを感じました。」と子ども達が様々な経験をしていることや心の成長を実感する機会となったようです。



編集後記

膳所幼稚園長 村上 淳子

膳所の地で90年の歴史を刻んできた幼稚園だからこそ、地域の人や環境に関わる保育を大切にしています。膳所に昔から伝わる伝統や文化に触れ、祭りや行事に参加することで、自分たちが住んでいる場所に一層親しみを感じ、『ふるさと膳所』への愛着心を育ててほしいと願っています。

また、人間関係が希薄になってきている時代だからこそ、保護者の方も子どもを介して顔の見えるつながりを大切に、地域の人と関わり意見交流をしたり、歴史文化に触れ、良さを知ったりしていく機会を重ねていけるよう、地域にある幼稚園としてその一助を担っていきたいと思っています。